

令和元年度の教育活動等に対する学校評価書

令和2年3月14日

学校法人瀬戸谷学園瀬戸谷幼稚園長 深澤孝俊
学校法人瀬戸谷学園瀬戸谷幼稚園学校関係者評価委員会長 瀧下悦代

- 1 幼稚園の教育目標
『大きくなる子 強くなる子』
- 2 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）
- ・行動力のある子どもを育てる
「土・水・光」の保育を中心に感性を豊かにし、仲間と共に生きる力を培う。
 - ・知的好奇心を育てる
なぜ、どうして、という好奇心を育て、問題解決の力を培う。
 - ・自主性のある子どもを育てる
自分でやってみようという気持ちになるよう自立の基礎を培う。

■ 自己評価結果とそれに対する学校評価者評価結果

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善点	評価点	意見
保育の計画性	保育の計画性	A	<p><反省と考察></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は園舎内のリフォーム工事があったことで保育内容や行事の日程変更もあり、計画を立てるのに苦労することも多かった。 ・高根幼稚園との合同保育やスーサー先生の「うんどろあそび」を取り入れることによって保育の充実ができた一年でもあった。 ・今年度二年目のクラスということもあり、子どもの成長を把握している分、計画しやすかった。 ・苦手なところを中心に新たにチャレンジする気持ちを持つことやあきらめない気持ちを育てることを考えて計画し、ゆっくりではあるが成長が見られてよかった。 ・週、日案を作成し、1週間の見通しを持ち保育を行うことができた。 ・その時々の子どもの興味関心に合わせて柔軟に対応した。 ・保育を終えると、日誌に足りなかった点 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長に合わせた保育を計画できた。 ・スーサー先生の「うんどろあそび」を計画的に昨年度より回数を増やしたことにより、子どもたちの運動への意欲が増し、親子で運動遊びをする機会を増やすことができた。 ・高根幼稚園との合同保育を増やし、来年度のスムーズな子ども園への移行を図った。

		<p>について記録し、次につなげるよう努力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園目標を自分自身がしっかりと把握し、その目標に沿った計画の中進めていくことができるよう心掛けた。また、担任の運営に寄り添い、配慮ができるよう心掛けた。 ・子どもの実態を常に把握し、様子を確認しながら進めていったのはよかった。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園に向けてのスタートをうまく乗り切れるようにお互いに連絡を取り合っていきたい。 ・来年度よりこども園となり職員が増え、より計画性を密にし、同じ方向を向いて進んでいけるように計画性を持ち、進めていきたい。 ・長期の指導計画を常に頭に押さえておきたい。 ・日々の保育でよかった点についても細かく記録していきたい。 ・あずかり保育に入ってしまうと、担任との日々振り返りからの再構成等が毎日できないので、しっかりと時間を作っていくことが必要。 	
--	--	--	--

保育のあり方	保育の実践力	<p>A</p> <p><反省・考察></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三歳児を中心とし、途中から入園の満三歳児との保育内容を変えて、年齢にあった保育が展開できた。 ・園外保育に年少児もできるだけ参加させてもらい経験を共有できた。異年齢から学ぶことも多かった。 ・年齢にあった製作や指導ができた。 ・季節を感じ、園外保育などに出掛け、自然に触れる機会が多くできた。 ・子どもたちが今困っていることや考えていることは何か、常に考えて保育するよう心掛けた。その困り感すべてに声掛けをするのではなく、その場にあった対応をするよう意識した。 ・子どもたちに提供する制作物すべてが子どもの思いを入れこむことができなかつたため、一人一人の思いや考えを大切に行っていきたいと感じた。 ・預かり保育では、朝早くから夕方までの長時間を園で過ごすので、一人一人の体調の変化に気を配ったり、家庭的な雰囲気や安心して過ごせるような環境作りに心掛けた。 ・配慮の必要な子に対しては、医療福祉関係機関との連携を密にとりながら、個に応じた対応を自分なりに心掛けた。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園になっても園外保育を中心に保育が進められるように年間計画を立てていく。 ・今年度同様に園の特徴を生かして様々な保育を実践していきたい。 ・自分が一つのことにも夢中になると、他児の様子を常に把握することができなかつたため、しっかりと周りの様子を推察して保育したい。 ・長期休業中も同じような環境作りでは環境をうまくつくりたい。 ・園外に出かける機会を沢山設けて 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、成長にあった保育を展開していた。 ・個に応じた対応にも努めていた。 ・異年齢で一緒に過ごす時間を通して、優しさや思いやり、向上心を育てることができていた。 ・園外保育等で豊かな自然に触れる機会を多く作り、季節感を養った。
--------	--------	---	--

			<p>携連のたときに関機のため社進の福。た療がっ医なかつりよもとば後にけ今密をい</p>		
教師としての資質	教師間のタイム力	A	<p>＜反省・考察＞ ・年少児は汚れた、り補まきがり、おのた、きも先生多数よらしにの先生を支援す ・年子とも割協力しい保育てかの保た、り保育が助しは、きおのた、きも先生多数よらしにの先生を支援す ・縦と協力をしい保育てかの保た、り保育が助しは、きおのた、きも先生多数よらしにの先生を支援す ・主保育師や日にうを他たが人保になき後割は、 ・い・掛・時も保たでこ・他、かがく・こ ・中での話し合ひのすう通たをもち指導 ・心の合れのですう通たをもち指導 ・保育士と自分と直ぐ共き人土から。課題＞ ・保育士と自分と直ぐ共き人土から。課題＞ ・保育士と自分と直ぐ共き人土から。課題＞</p>	A	<p>・全教師間で、しっかりコミュニケーションをとるよう努めていた。 ・担当するクラス以外の園児を理解する努力をしていた。</p>

			<p>りを定着させ、いきいきと園生活を送る。職員が増えるた め、より一層の連携、話し合いを り、自分から積極的に聞いたり答えた り、今後とも進めていく中で、子どもへ の指示を少なめに、子どもの主体性 を大切にしたい。チャンスや経験し育 て、自ら体験できる。チャンスを全保 士で。</p>	
保護者への対応	保護者との連携	A	<p><反省・考察> ・お便りを中心に園への行事にも参加して もらい、子どもたちの実態から保育での成 長や子育ての楽しさを実感してもらえた と思う。 ・連絡帳クラス便り、送り迎えの時などに 伝えたり話すことができた。 ・毎週のクラス便りでは、今やっているこ と頑張っていることが伝わるよう心掛け た。 ・常に保護者の方と話をすることはできな かったが、学期末の面談では、すべてを話 せるよう準備して終える事ができた。 ・担任の先生方から子どもについての近況 を伝達して下さっているの、子どもの様 子や保護者への連絡も共通理解のもと行 っていくことができた。 <今後の課題> ・保護者との連絡を密にし、個への対応を していく。 ・園側からの発信が多いので、保護者から の発信の声掛けをしていきたい。 ・保護者の方々からいただく相談に対して 、適切に返答することができようになり たい。そのために、知識をしっかりと身に付 けていきたい。 ・保護者の思いや声掛け等に、しっかり耳 を傾けていきながら、意見交換をしてい くことが今後も大切だと思う。</p>	A
				<p>・お便り、連絡帳、送迎時の会話等を通し 、保護者との情報共有に努め、お互いの理 解を深めた。 ・園全体で、子ども一人一人の個性や成長 を見守って保育しているという信頼感、安 心感を保護者に持ってもらえている。 ・保護者の意見を取り入れ、行事の準備等 での保護者負担を減らす努力をした。</p>

て		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も積極的に参加していきたい。 ・初任者研修では、他園の保育を見学させていただくことで、より自分の保育を考え直すきっかけとなった。また、行くことのできる研修には進んで参加するよう心掛けた。 ・保育者全員が円買いの研修を受けることができ、自分の保育を見直したり、幅広い視野で考えられるようになった。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園に向けての園内研修を充実させていきたい。 ・来年度は今まで自分が経験していない乳幼児の研修に参加していきたい。 ・休みの取り方が変わるのでうまく研修に参加できるように計画していきたい。 ・今後も専門的知識を身に付けていくため、たくさん参加していきたい。 <p>。次年度はこども園に移行するに当たり、研修時間の確保が難しくなるかもしれないが、専門研修を受けさせていただけるとありがたい。</p>		
---	--	---	--	--